

第二次健康もりや21計画 平成30年度取組実績及び令和元年度事業計画(案)

分野	目標項目	具体的な取組 (地域・行政)	担当課	平成30年度取組実績		令和1年度取組事業計画		評価指標
				実施内容	実績	実施内容	実施回数等	
栄養・食生活	1日の食塩摂取 目標量(成人)  男性8g未満 女性7g未満	小学校での 食育活動	保健センター	市内9校4学年を対象とした、生活習慣病予防を目的に野菜摂取を推進するための健康教育を実施。	22回689人	市内9校4学年を対象とした、生活習慣病予防を目的に野菜摂取を推進するための健康教育を実施	9校22回	市民アンケート ◆朝食を毎日とる H24⇒H28⇒H29 73.8%⇒73.4%⇒72.5% ◆主食・主菜・副菜の そろった食事をとる H24⇒H28⇒H29 53.4%⇒52.7%⇒49.7% ◆塩分を控える H24⇒H28⇒H29 35.3%⇒38.3%⇒36.7%
		男性の 料理教室	保健センター	成人男性を対象に生活習慣病予防の食についての講話及び野菜たっぷり、塩分控えめ料理の調理実習を実施した。	1回14人	食生活改善推進員が、成人男性を対象に生活習慣病予防を目的とした食についての料理教室を開催	1回	
		塩分換算が できる啓発	保健センター	毎月19日「食育の日」に配布するリーフレットに、1日の成人の塩分摂取目標量を記載したものを配布した。	10回1470枚	集団健康診査受診者に、成人の1日の塩分摂取目標量について知識普及を実施	31日間	
		食育の日活動	保健センター	毎月19日の「食育の日」に市内スーパーで、健康づくりのための食に関するチラシを配布した。	10回1470枚	毎月19日は「食育の日」であることを、小学4年生を対象に実施する生活習慣病予防栄養健康教育の中で伝えていく。	9校22回	
		栄養バランス や砂糖含有量 モデルを活用 した説明	保健センター	9月・11月・1月の集団健康診査会場にて、栄養バランス、野菜たっぷり、塩分控えめメニューのチラシを配布した。	27日間5,777枚	集団健康診査会場で、栄養バランスの良い食事について及び飲料の糖分量について知識普及していく。	31日間	
		「健康づくり 支援店」の勸 奨・減塩の普 及	保健センター	健康づくり支援店登録方法について広報に掲載し、健康づくり協力店においては、減塩に関するチラシの配布依頼及び食堂テーブルに減塩に関する内容のチラシを入れた卓上ホルダーを設置した。	2か所	健康づくり支援店登録方法及び茨城県のヘルスケアポイント事業について周知	1回	
身体活動・運動	運動する習慣の ある人が増える  (壮年期) 現状値37.7%⇒40%へ  (高齢期) 現状値51.1%⇒現状維持	ウォーキング マップ作成	保健センター	2市1町(守谷市・取手市・利根町)ウォーキングマップをホームページに継続掲載	掲載中	2市1町(守谷市・取手市・利根町)ウォーキングマップをホームページに継続掲載予定。	掲載中	◆運動習慣 (特定健診質問票) H24⇒H28⇒H29 【男性】 40歳代 21.6%⇒21.0%⇒24.6% 50歳代 28.3%⇒21.5%⇒20.4% 60歳代 46.4%⇒43.5%⇒45.2% 70歳代 55.4%⇒54.0%⇒53.5% 【女性】 40歳代 19.3%⇒15.5%⇒10.9% 50歳代 28.7%⇒22.4%⇒23.8% 60歳代 39.3%⇒38.5%⇒37.3% 70歳代 46.2%⇒48.9%⇒48.3%
		健康づくり サークル・団 体等の情報提 供	保健センター	健康づくりを推進するために、市内公園における健康器具設置状況及びラジオ体操に関する情報を掲載したチラシをの集団健康診査会場にて配布した。	27日間5,777枚	健康づくりに関する運動について啓発	26日間	
		シルバーハビ リリ体操の推 進	介護福祉課	高齢者出前サロンなどで継続的に実施した。	47箇所	高齢者出前サロンなどで実施予定	47箇所	
		ミニ歩く会等 との協働で ウォーキング 教室開催	保健センター 生涯学習課	ミニ歩く会と協働でウォーキング教室を開催した。	6回84人	ミニ歩く会と協働でウォーキング定例会を開催予定。	年12回	
		運動に関する 知識を得る学 習の場	保健センター 生涯学習課 各公民館	①公民館講座主催の各運動教室 ②保健センター健康教室で運動指導 ③各種団体活動において運動研修 ④生涯学習課主催の各運動教室	①60回 ②3回 ③2回 ④10回	①公民館講座主催の各運動教室予定 ②保健センター健康教室で運動指導予定 ③各種団体活動において運動研修予定 ④生涯学習課主催の各運動教室予定	①年50回 ②年3回 ③年2回 ④年8回	
		運動のイベント	生涯学習課	健康スポーツフェスティバルを開催した。	1回	健康スポーツフェスティバル開催	1回	

分野	目標項目	具体的な取組 (地域・行政)	担当課	平成30年度取組実績		R1年度取組事業計画		評価指標
				実施内容	実績	実施内容	実施回数等	
休養・こころの健康	悩みがあったとき、 一人で解決する人が減る 現状値32.3%⇒減少へ	大切な方を亡くした人のこころのケア対策	保健センター	月12回実施。分かち合いの会として実施している。	12回	月12回実施。分かち合いの会として実施予定。	年12回	<市民アンケート> ◆余暇活動などによりストレス発散している割合 H27⇒H28⇒H29 38.3%⇒41.6%⇒36.9% ◆休養を適度にとる H24⇒H28⇒H29 36.0%⇒36.9%⇒36.6%
		こころの健康相談窓口の充実	保健センター	①毎月木曜日予約制に実施。 ②電話での簡単な問い合わせから訪問、面接まで実施している。 ③守谷断酒会 酒害相談 日曜日に実施。	①3回 ②268件 ③22回	①毎月木曜日予約制に実施予定。 ②電話での簡単な問い合わせから訪問、面接まで実施予定。 ③守谷断酒会 酒害相談 日曜日に実施予定	①年12回 ②年250件 ③22回	
		こころの障がいをもった人の交流	保健センター	2回ボランティアフォローアップ講座として実施。	1回	ボランティア養成講座を4回実施予定	年4回	
		こころの健康についての啓発	保健センター	①メンタルヘルス講座を2回開催 ②出前講座として民生委員、ケアマネージャー会へ講話を実施	①2回38人 ②65人	①ゲートキーパーに関する講座を実施予定。 ②精神保健に関する出前講座を実施予定	①年4回 ②年2回	
		こころのボランティア育成 精神障がい者の居場所づくりや交流	保健センター	①精神疾患のある当事者の居場所として実施している。 ②定例の連絡会として6回実施	①20回57人 ②2回	①精神疾患のある当事者の居場所として実施予定。 ②定例の連絡会として4回実施予定	①20回57人 ②年4回	
		イベント等を利用した啓発活動	保健センター	年2回街頭啓発を実施。	2回/800枚配布	年2回街頭啓発を実施予定	年2回	
		休養に関する啓発	保健センター	メンタルヘルス講座を2回開催予定	2回38人	ゲートキーパーに関する講座を実施予定	①年4回	
喫煙(たばこ)・COPD(慢性閉塞性肺疾患)	成人の喫煙率の減少 現状21%⇒減少へ  妊娠中の喫煙をなくす 現状値2%⇒0%へ	喫煙または分煙飲食店の情報把握	保健センター	市内飲食店における禁煙・分煙情報をホームページに継続掲載	掲載中	掲載中の内容を削除し、内容の見直しを検討	—	<特定健康診査質問票> ◆成人の喫煙率 H23⇒H28⇒H29 男性 21%⇒20.0%⇒19.3% 女性 4.7%⇒4.3%⇒4.4% <3～4か月児健診時父母アンケート> ◆父母喫煙率 H27⇒H28⇒H29 父喫煙率 26.0%⇒26.1%⇒26.6% 母喫煙率 1.8%⇒2.3%⇒2.1% ◆妊娠中母喫煙率 H24⇒H28⇒H29 2.0%⇒1.4%⇒2.4%
		健康づくり支援店登録の普及	保健センター	広報もりやにて申請登録方法を掲載する	3/10号：1回掲載	申請登録方法を周知する	1回	
		小学生・中学生対しての喫煙予防教育	保健センター	①市内1中学校(1年生)を対象に喫煙予防教室を開催 ②市内4中学校(1年生または2年生を対象に、校医によるがん教育を実施)	①生徒175人 保護者27人計202人 ②4校/589人	喫煙予防教室開催依頼に応じて実施	随時	
		母子手帳交付時、喫煙の害についての啓発	保健センター	①母子手帳交付時受動喫煙防止の啓発用パンフレットを配布 ②母子手帳交付窓口で妊婦の喫煙防止についてミニパネルで説明 ③保健センター窓口に妊婦の喫煙防止パネル展示 ④両親学級で胎児及び乳児への影響について啓発 ⑤子育てナビで「受動喫煙、タバコの母乳への影響」を産後1か月過ぎに配信	①② ※子育て包括支援センターでの母子健康手帳交付者(新規+転入)：638人 ③展示中 ④151組302人	③保健センター窓口に妊婦の喫煙防止パネル展示 ⑤子育てナビで「受動喫煙、タバコの母乳への影響」を産後1か月過ぎに配信	③通年 ⑤通年	
		公共の場、職場における受動喫煙防止対策の推進	保健センター	受動喫煙の害について保健センター内にポスター掲示	通年	受動喫煙の害について保健センター内にポスター掲示 公共施設に受動喫煙に関する情報提供	通年	
		特定健診会場等での喫煙啓発	保健センター	①集団特定健康診査会場(保健センター)にてパネル・タール媒体展示にて啓発 ②喫煙者で希望する方にスモーカーライザーで呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、禁煙指導を実施。	①7日間 ②2回/10人	①集団特定健康診査会場(保健センター)にてたばこの害についての媒体物展示 ②喫煙者で希望する方にスモーカーライザーで呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、禁煙指導を実施	①7日間 ②2回	
		禁煙週間の取組み	保健センター	乳幼児健診に喫煙予防媒体及びパネルを展示	1回/27人	禁煙週間に、たばこの害について普及啓発	1回	

分野	目標項目	具体的な取組 (地域・行政)	担当課	平成30年度取組実績		R1年度取組事業計画		評価指標
				実施内容	実績	実施内容	実施回数等	
飲酒 (アルコール)	成人の飲酒率の減少 (男性) 現状値16%⇒減少へ (女性) 現状値6.8%⇒減少へ	母子健康手帳 交付時飲酒の 害について啓 発	保健センター	①保健センター窓口に妊婦の飲酒防止パネル展示 ②母子手帳交付時、子育て世代包括支援センターにて妊婦の飲酒防止について、ミニパネルで説明	①展示中 ②通年 ※子育て包括支援センターでの母子健康手帳交付者(新規+転入): 638人	①保健センター窓口に妊婦の飲酒防止パネル 展示	通年	<特定健康診査質問票> ◆飲酒の割合(成人) ・男性2合/日 ・女性1合以上/日
		中学生へ飲酒 の害について 啓発	保健センター	①薬物乱用防止教室の実施依頼のあった小学校及び中学校で飲酒の害についての資料を作成配布した。 ②市内小学校9校の6年生保護者を対象に飲酒の害に関する資料を配布した。	①3校346部 ②9校705部	①教室を依頼された学校で飲酒の害について 啓発 ②市内小学校9校の6年生保護者を対象に飲酒の害について啓発	①随時依頼に応じる ②9校	H24⇒H28⇒H29 男性 16%⇒11.5%⇒12.3% 女性 6.8%⇒3.6%⇒4.28%
	妊娠中の飲酒を なくす 現状値10%⇒0%へ	妊婦等への飲 酒の害につ いて啓発	保健センター	①両親学級にて、「胎児への影響」「乳児への影響」について啓発した。 ②保健センター窓口に妊婦と飲酒の害についての啓発パネルを展示した。 ③子育てナビで「たばこ・お酒の害から赤ちゃんを守りましよう」の内容を配信した。 ④子育てナビで「授乳中のお酒に注意」産後1か月過ぎに配信した。	①7回/年 (151組302人) ②展示中 ③配信中 ④配信中 ※子育てナビ登録者 (親):1578人 (①令和元年6月末現	・保健センター廊下に妊婦と飲酒の害について の啓発パネルを展示する。 ・子育てナビで「たばこ・お酒の害から赤 ちゃんを守りましよう」を配信 ・子育てナビで「授乳中のお酒に注意」産後 1か月過ぎに配信	通年	<3~4か月児健診時父母アンケート> ◆妊娠中の飲酒 H24⇒H28⇒H29 9%⇒0.9%⇒1.0%
	「適度な飲 酒」の普及啓 発	保健センター	①健診結果相談会の個別相談会でアルコールの適正量について説明 ②健康教室(ヘルスメイク教室及び糖尿病予防教室)において、食事の適正量とあわせてアルコールについても指導	①相談会14回/年 ②2回/36人	①健診結果相談会の個別相談会でアルコール の適正量について説明 ②健康教室(ヘルスメイク教室及び糖尿病予 防教室)において、食事の適正量とあわせて アルコールについても指導	事業開催時		
歯・口腔の健康	虫歯のない 3歳児の増加 現状値75.6%⇒85.0%  定期的に歯科検診 を受けている 成人の増加 現状値50.4%⇒65.0%	1歳6か月児・ 3歳5か月児健 康診査におい て、フッ素塗 布を順次実施	保健センター	①3歳5か月児健康診査で、希望者にフッ素の塗布を実施した。 ②1歳6か月児健康診査で、希望者にフッ素の塗布を実施した。	①27回555人 ②24回556人	1歳6か月児健康診査及び3歳5か月児健康 診査で、希望者にフッ素の塗布を継続実施	48回	
		虫歯予防、歯 周病予防の啓 発	保健センター	①1歳6か月児健康診査で、歯科検診、歯みがき指導を実施 ②3歳5か月児健康診査で、歯科検診、歯みがき指導を実施 ③母親学級で、妊婦の歯科検診、歯みがき指導、子どもの歯についての講話を実施 ④2歳児歯みがき教室で歯科衛生士による歯みがき指導、講話を実施 ⑤保健センター廊下に常時設置 ⑥歯科衛生士が子育て支援センター等へ赴き、講話と質疑応答を実施 ⑦こんにちは赤ちゃん訪問の際に、チラシを説明、配付。	①24回604人 ②27回687人 ③4回46人 ④4回29人 ⑤展示中 ⑥9回146組 ⑦613人	④→事業廃止し⑥の出張型講話を実施。 ⑤啓発パネルを保健センター廊下に常時設置 する。 ⑥歯科衛生士が子育て支援センター等へ赴 き、講話と質疑応答を実施する。 ⑦こんにちは赤ちゃん訪問の際に、チラシを 説明、配付する。	⑤通年 ⑥年8回 ⑦通年実施	◆むし歯のない割合 3歳5か月児健康診査 H23⇒H28⇒H29 75.6%⇒81.7%⇒84.1%  <児童生徒健康診断等資料より> ◆むし歯のない割合 小学校 H23⇒H28⇒H29 48.4%⇒52.2%⇒51.4% 中学校 H23⇒H28⇒H29 50.3%⇒68.7%⇒69.6%
		歯科のかかり つけ医の普及	保健センター	①1歳6か月児健康診査、3歳5か月健康診査、個別健康相談等開催時啓発 ②歯周疾患医療機関検診事業実施 ③子育てナビで「歯科のかかりつけ医の定期検診とフッ素塗布」の啓発(乳児期/幼児期)	①57回1355人 ②99人 ③配信中 ※子育てナビ登録者 (親):1578人	①1歳6か月児健康診査、3歳5か月健康診 査、個別健康相談等開催時啓発 ②歯周疾患医療機関検診事業実施 ③子育てナビで「歯科のかかりつけ医の定期 検診とフッ素塗布」の啓発(乳児期/幼児 期)	①54回 ②5月~3月 ③通年	
		8020・6424を 目指した歯の 健康づくり推 進	保健センター 介護福祉課	歯科衛生士などによる高齢者向け出前講座で、歯の健康づくりに関する啓発活動及び指導を実施した(地域包括支援センター)	40回/431人	高齢者対象の出前講座で、歯の健康づくりに 関する啓発活動を実施(地域包括支援セン ター)	通年	



分野	目標項目	具体的な取組 (地域・行政)	担当課	平成30年度取組実績		R1年度取組事業計画		評価指標
				実施内容	実績	実施内容	実施回数等	
次世代への健康	全出生中の低出生体重児の減少 現状値8.5%⇒減少へ	食育講座「よく噛んで3食食べよう」の推進	保健センター	3歳5か月児健康診査時の栄養相談時に良く噛んで食べることを伝えた。「食育紙芝居」を購入、次年度の健診時に実施できるよう検討中。	27回	3歳5か月児健康診査会場で、食生活改善推進員による「食育紙芝居」実施時に、よく噛んで食べようを推進する	18回	<地域保健報告より> ◆低出生体重児率 H23⇒H28⇒H29 8.5%⇒7.4%⇒10.7%
	朝食を食べている3歳児 現状値 98.6%⇒現状維持	適正体重についての啓発	保健センター	小児生活習慣病予防健診受診した小学4年生で、健診結果でハイリスク児を対象に相談会を予約制で実施した。中学生のハイリスク者については、随時、相談対応できる体制を整えた。養護教諭と連携し、ハイリスク児童の受診状況の把握、各学校においては受診勧奨を実施し個別指導を実施	相談件数2件	生活習慣病予防栄養健康教育で肥満予防に関する話を取り入れる	9校22回	<児童生徒健康診断統計資料> ◆栄養状態(肥そう度：標準) H23⇒H28⇒H29  小学校 91.8%⇒92.5%⇒92.2%  中学校 88.3%⇒88.5%⇒90.2%
生活習慣病(糖尿病・循環器疾患・がん)	受診しやすい検診体制		保健センター	①子宮がん、乳がん検診申込電子申請受付継続 ②乳がん検診と大腸がん検診の同時実施	①304件申込 ②63件実施	①子宮がん、乳がん検診申込電子申請受付継続 ②乳がん検診と大腸がん検診の同時実施 ③骨粗しょう症と大腸がん検診の同時実施	通年	<法定報告> ◆特定健康診査受診率 H24⇒H28⇒H29
	個別勧奨通知		保健センター	①子宮頸がん検診・乳がん検診・胃がん検診受診勧奨 ②特定健康診査受診券と併せ肺がん検診個別通知を発送	①各1回 子宮頸がん7,393通 乳がん8,691通 胃・大腸がん19,237通 ②1回/21,799通	①子宮頸がん検診・乳がん検診・胃がん検診受診勧奨 ②特定健康診査受診券と併せ肺がん検診個別通知を発送	各1回	47.7%⇒50.7%⇒50.4%
	特定健康診査受診率 現状値 47.7%⇒60%へ	糖尿病予防のための啓発	保健センター	①糖尿病予防教室開催 11月～2月実施 ②集団健康診査時に糖尿病予防についての健康教育実施	①4回/81人 ②54回/5,777人	糖尿病予防教室開催 11月～2月実施	1回	<市民アンケート> ◆がん検診受診率 H24⇒H28⇒H29
	がん検診受診率 現状値 42.6%⇒50%へ	広報やホームページ等を活用した生活習慣病予防の啓発	保健センター	9月の循環器疾患予防月間に、市政情報モニターに生活習慣病予防啓発スローガンを掲載した。ホームページには、家庭血圧について継続して掲載中。	1回/年	9月の循環器疾患予防月間に、市政情報モニターにて生活習慣病予防を啓発	1回	胃がん 50.5%⇒51.7%⇒54.3% 大腸がん 47.6%⇒52.1%⇒50.0% 肺がん 44.8%⇒43.1%⇒43.5%
		小児生活習慣病予防健診(小学4年・中学1年対象)	保健センター 学校教育課	①小学4年生及び中学1年生を対象に、小児生活習慣病予防健診を継続実施 ②小児生活習慣病予防健診を受診した小学4年生のハイリスク児と保護者へ個別相談を実施	①受診者数 小学校:464人 中学校:436人 ②個別相談会利用者 4人/2組	①小学4年生及び中学1年生を対象に、小児生活習慣病予防健診を継続実施 ②小児生活習慣病予防健診を受診した児童・生徒及び保護者対象に個別相談実施	①年度1回 ②随時受付	前立腺がん 14.8%⇒14.0%⇒14.0% 乳がん 39.8%⇒41.2%⇒44.4%
		取手市医師会との協働による啓発活動	保健センター	①市内4中学校で、校医によるがん予防の講演会を実施。 ②取手医師会との共催による「生活習慣病予防市民公開講座」を開催。	①4校/589人 ②1回/90人	①市内4中学校で、校医によるがん予防の講演会を実施。 ②取手医師会との共催による「生活習慣病予防市民公開講座」を開催。	①4校/年 ②1回/年	子宮頸がん 41.8%⇒38.5%⇒44.3%